

社協たより

第185号

2020.3.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0026 直方市津田町7番35号
TEL0949(23)2551 FAX0949(23)2552
e-mail:nogatashakyo@fuga.ocn.ne.jp HP:http://www.nogatashakyo.org/

誰もが集まれる場所 ピア・スペース7番地

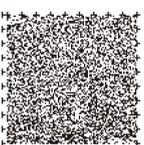


ピア・スペース7番地は、障害の有無などに関わらず、誰でも自由に集まれるフリースペースです。居場所運営協議会が、毎月第3土曜日13時～15時に直方市社会福祉協議会内にあるボランティアルームで開催しています。

もくじ

- ひきこもり防止支援事業…………… 2
- 情報の広場 (直方殿町子ども食堂・移動送迎支援事業)
図書室 (思考の整理学)
お知らせ (おもちゃ図書館のおがた) …………… 3
- お知らせ
第19回男性介護者のつどい
第45回直方市ボランティアのつどい
令和元年度地域福祉セミナー
ご寄付…………… 4

が広がる中、子どもがSNSを通じて犯罪に巻き込まれるケースが相次いでいる。昨年11月には、大阪の女児が男に連れ出され、栃木県の交番で保護された。便利さの陰で、さまざまな事件が広がっている。(広田)



昨年12月に公表された経済協力開発機構(OECD)による国際的な学力調査で、日本の若者の読解力低下が浮き彫りになった。また、スポーツ庁が昨年度全国体力テストの結果を公表し、小学生の体力の急激な低下と肥満の増加の要因として、スマホの普及による運動時間の減少を挙げている。

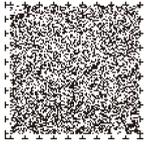
また、スマホを持つ子どもが増える中、子どもがSNSを通じて犯罪に巻き込まれるケースが相次いでいる。昨年11月には、大阪の女児が男に連れ出され、栃木県の交番で保護された。便利さの陰で、さまざまな事件が広がっている。

kantera

SNSの異変

カンテラ

社会福祉法人直方市社会福祉協議会 ひきこもり防止支援事業



どうしてもひきこもり支援が必要なのか

全国には155万人のひきこもり当事者がいると言われています。(2019年3月内閣府発表)もちろん直方市も例外ではなく、年に1度「学校に行かない子どもを支える会」(市内不登校家族会)と共催している不登校・ひきこもり学習会の参加者からも、家族がひきこもり状態で悩んでいるという声が聞かれます。また、近年、川崎の通り魔殺傷事件や、元次官が長男を殺した事件など、ひきこもりに関わりの深い事件が多く報道され、世間のひきこもり問題への関心が高まっているように感じます。

しかし一方で、直方市内にひきこもり相談に関する専用窓口や専門機関がありませんでした。そこで、直方市内に専用の相談窓口やフリースペース等を作り、ひきこもりで悩んでいる方が声を挙げやすくし、できるだけ身近な場所で支援を受けることが出来る環境を作る必要があるのではないかと考えました。



ひきこもり防止支援事業とは?

このような現状を受け、直方市社会福祉協議会(以下、直方社協)は、ひきこもりで悩んでいる方の力になるため「ひきこもり防止支援事業」を開始しました。この事業では、不登校やひきこもり問題で悩んでいる方を対象に、相談者やその家族等が抱える生きづらさを解決するお手伝いをさせていただきます。

現在は、相談支援のみ先行して行っています。今後、フリースペースの設置や、適応指導教室(市が不登校中の小中学生を対象に開いている教室)の長期休暇中の学習支援などの充実を図る予定です。

ひきこもり相談窓口について

不登校・ひきこもり問題で悩んでいる方に向けた専用相談窓口を設置しました。

関係機関・団体と連携し、当事者やその家族が適切な支援を受けることができるよう、サポートさせていただきます。当事者やその家族に限らず、ひきこもりに関するお悩みを抱えた方であればどなたでもご相談ください。

相談方法は電話・来所・メールで対応させていただきます。来所の場合は、担当職員が不在の場合もございますので事前に電話・メールでご連絡をお願いいたします。

電話相談

0949-23-2551

来所相談

直方社協(直方市津田町7番35号)

メール相談

sci-wdraw@nogatashakyo.org

ボランティア募集

フリースペースの設置や不登校児に向けた学習支援を行うにあたり、フリースペースの見守りボランティアや学習ボランティアの募集を行います。

詳細を聞きたい方や、ひきこもり支援に興味のある方は、直方社協までご連絡をお願いします。

ひきこもり
居場所ボランティア講座

ボランティアの募集に伴い、「ひきこもり居場所ボランティア講座」を2日にわたって開催

たします。興味のある方はぜひご参加ください。1日のみの参加や当日参加も可能です。

日時：①3月22日(日)

13時30分～15時30分

②3月29日(日)

13時30分～15時30分

場所：直方市中央公民館

第1会議室

参加費：無料

講師：3月22日 元当事者の立場から若者支援

を行う

児童福祉施設職員

三村 吉郎さん

3月29日 家族療法による支援を实践

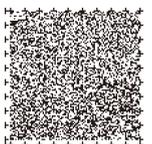
医療法人富田醫院

富田 伸さん

申込・問い合わせ

直方市社会福祉協議会

0949-23-2551



情報 の 広 場

直方殿町子ども食堂

子どもたちや地域の方がみんなで集まって楽しく食事をとれるように、低価格で食事を提供しています。子どもやその家族だけでなく、大人のみの参加も歓迎しています。年齢や収入、障害の有無などに関わらず、どなたでも気軽にお越しください。

- 日時 毎月第4日曜日 12時～15時
- 会場 画廊カンヴァス (直方市殿町10-41)
- 参加費 大人 300円 高校生 150円 中学生以下 無料
- 主催 画廊カンヴァス
- 問い合わせ 代表 池田 090(28859)2578

移動送迎支援事業

直方市社会福祉協議会では、公共交通機関を利用することが困難な在宅の障害者や高齢者等の社会参加促進と自立支援のため、移動送迎事業を行っています。

- 対象者 直方市内に在住で
 - ①手帳(障害者、療育)を持っていて日常的に車イスや補装具を使用している人
 - ②要介護3以上で日常的に車イスや補装具を使用している人 など
- 運行範囲 福岡県内日帰り
- 運行日 年末年始(12月29日～1月3日)を除く毎日
- 利用時間 9時～16時30分
- 利用料 基本無料
- ガソリン代、有料道路代、駐車場代は実費負担

移転しました！ おもちゃ図書館のおがた

おもちゃ図書館のおがたでは、障害のある子どもも、ない子どもも一緒に遊んで交流できます。たくさん種類のおもちゃをそろえており、子どもたちは閉館時まで夢中になって遊んでいます。来てくれる子どもは、幼児から小学校前期の子が中心です。年に数回はクリスマス会等のイベントも開催するのでぜひ遊びにきてください。

ボランティアも募集しており、子どもが好きな方ならどなたでも歓迎しています。(石黒)

- 開館日 毎週土曜日
- 開館時間 10時～12時 13時～15時
- 場所 直方市社会福祉協議会(直方市津田町7-35)
- おもちゃの貸し出し 子ども1人につき2点まで
- 問い合わせ 直方市社会福祉協議会



おもちゃ図書館は
こちらに移転しました

直方市
社会福祉
協議会

直方
郵便局



図書室



「思考の整理学」

著者 外山滋比古
発行所 筑摩書房

学校は、知識を重視し、先生と教科書に引っ張ってもらうグライダー型。エンジンを積んで自分の頭で考え、自力で飛び回れる飛行機型の人間こそ、これからの時代には必要だ。

30年間で200万部以上売れたロングセラー。ここには思考の本質が描かれている。「知」という営みに対する向き合い方を考えるうえで、まさに礎となる一冊である。本書の帯には「もつと若いときに読んでいれば……」と書かれているが、読むのに遅すぎることはない。知識は過去のもの、もう御用済み、それに対して思考のほうに価値がある。表題から、論理的で学術的な印象だが、エッセイ風で、実に面白い。

(広田)

令和元年度地域福祉セミナー

もしもに備えるいつも ～災害に備え、知って伝えて考える～

NPO 法人つなぎ te おおむた理事長の彌永恵理さん^{いやなが}をお招きします。「クロスロードゲーム体験」を通して災害を自分ごととして考えましょう。

- と き 令和2年3月14日(土)
13時～15時30分
- ところ 直方市中央公民館 第3学習室
(直方市津田町7-20)
- 参加費 100円
- 申込み TEL・FAX・メールなど
- 問い合わせ 直方市社会福祉協議会
Tel 0949 (23) 2551

第45回 直方市ボランティアのつどい

心をくみとり、寄り添う傾聴 ～聴くということ～

傾聴ボランティアについて、北九州傾聴ボランティアひだまりの樹代表の毛利暁子さん^{あきこ}にお話していただきます。



- と き 令和2年3月21日(土)
13時30分～15時
- ところ 直方市中央公民館 第3学習室
(直方市津田町7-20)
- 参加費 無料
- 主催 直方市ボランティア連絡協議会
直方市社会福祉協議会
- 共催 障がい者問題を考える直方市連絡会議
- 問い合わせ 直方市社会福祉協議会
Tel 0949 (23) 2551

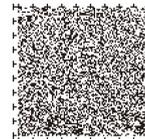
編集後記

一昨年7月の西日本豪雨で、被害が大きかった岡山県倉敷市が作成した「豪雨災害対応検証報告書」によると、犠牲者(関連死を除く)51人の内9割が高齢者でした。また、19人が自宅の2階に垂直避難すれば助かった可能性があると言われています。

市が「避難準備・高齢者等避難開始情報」を発令したとき災害弱者は、例えば空振りになったとしても、まずは命を守るため早期避難を行う大切さを感じました。

(藤田)

「第19回 男性介護者のつどい」 参加者募集



介護苦によって孤立することのない地域^{やまかわ}を目指し、介護コーディネーターの山川 仁^{ひとし}さんを交えて「介護で行き詰まる人と、そうでない人の違い」についてお話いただき、日常生活の悩みなどを意見交換します。

- と き 令和2年3月21日(土) 10時～12時
- ところ 直方市中央公民館 第3学習室
(直方市津田町7-20)
- 対象者 男性介護者の方
(奥様やご両親などを介護している方や、その経験をされた方)
- 参加費 100円
- 共催 認知症の人と家族の会直方
- 申込み TEL・FAX・メールなど
- 問い合わせ 直方市社会福祉協議会
Tel 0949 (23) 2551



ご寄付ありがとうございます。

令和元年11月11日～令和2年2月10日
8件 合計金額 1,090,748円
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)



香典返し寄付金

- 中泉 (故)藤田 正吉
- 永満寺 (故)久保 勝子
- 中泉 (故)藤田 哲志

一般寄付金

- 直方三中古希同窓会
(昭和40年卒業生)

